



100歳おめでとございます

～今給黎ふち枝さん（寿町）

今給黎ふち枝さんが5月30日にめでたく100歳を迎えられ、同日、南方圏において市と社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。今給黎さんは、お若いころ小学校の教員をされており、33歳で結婚後、38歳まで台湾で生活されていました。帰国後、小・中学校のPTA役員や市・校区婦人会の役員などで、地域の活動に尽力される一方、市栄養推進委員として料理教室を開講されるなど、多方面で活躍されてきました。

これからも、お元気で長生きしてください。



グラウンドゴルフで和やかに地域交流

～桜馬場地区グラウンドゴルフ大会

桜馬場地区おらづくり委員会（今門求委員長）が主催する恒例のグラウンドゴルフ大会が6月3日、妙見グラウンドで行われました。梅雨入り後の最初の日曜日ということで天気は心配されましたが、当日は好天に恵まれ、地区内の5公民館から約200人が参加しました。

参加者たちは、まず、LCLダンス教室小園美智雄さんの指導による準備運動を入念に行った後、それぞれのホールに分かれて競技。ホールインワンや珍プレーも多数飛び出し、あちらこちらから笑いとお歓声が聞こえてくるなど、なごやかで楽しいグラウンドゴルフ大会でした。

10月から枕崎でも地デジが始まります

～県内テレビ局の女性アナウンサーが市役所でPR

県内テレビ局の女性アナウンサー3人が6月25日、市役所において、今年10月から枕崎でも視聴できるようになる『地上デジタル放送』のPRを行いました。

MBCの豊平有香さん、KTSの中西真貴さん、NHKの藤井まどかさんの3人がそれぞれ「データ放送のお天気情報が便利」「鹿児島県の美しい景色をハイビジョンで楽しめる」「ワンセグ携帯でも楽しめる」などと、地上デジタル放送の魅力や特徴を説明しました。

これまでのアナログ放送は平成23年7月24日で終了し、デジタル放送に完全に移行します。詳しくは次号「広報まくらざき8月号」で説明します。



地域の道路を自分たちで整備

～東白沢公民館が集落道路を整備

東白沢公民館の役員の方々が6月5日から9日にかけて、集落道路のコンクリート舗装と擁壁工事を行いました。これは、自分たちの道路は自分たちで、市の補助金を受けずにボランティアで行われたものです。

炎天下の中、集落の皆さんが自分たちでトラックや重機類を操るなどして、約30%の立派な道路が完成しました。なお、擁壁工事は、市から使用済み排水溝の譲渡を受け、施工されています。

このように、自助自立の精神で公民館が取り組んでいることは、大変ありがたいことです。



楽しい人形劇に子どもたちも笑顔

～まくらざき保育園で子ども芸術祭典

鹿児島県子ども芸術祭典～人形劇回むすび座による人形劇が5月29日、まくらざき保育園で開催されました。これは、地域の子供たちに人形劇を楽しんでもらおうと、母親クラブカモミール（中島ゆかり代表）が中心となり企画されたもの。同保育園などの子どもたちや保護者など約200名が、『こぶたのぶうぶはこぶたのぶうぶ』『おたまじゃくしの101ちゃん』の人形劇を鑑賞し、いきいきとした人形たちによる物語を楽しみました。

母親クラブカモミールは、このような事業を通して親子のふれあいを育む体験活動などを行っているグループ。イチゴ狩りなども開催しているということです。



オーケストラ演奏に酔いしれた

～別府中学校で芸術鑑賞事業

別府中学校で5月31日、青少年のための芸術鑑賞事業が開催され、同校の全校生徒が鹿児島交響楽団によるオーケストラの楽器の音色を楽しみました。

曲は、各楽器の特性などについて詳しく説明しながら、バイオリンなどによる弦楽四重奏、クラリネットなどの木管楽器による木管五重奏などで、『大きな古時計』など馴染みのある曲を演奏していきました。最後の全体合奏では、『バイレーツ オブ カリビアン』も演奏され、迫力のあるオーケストラの演奏に生徒たちから大きな拍手が送られました。



視察の様子

今後の枕崎について知事と語り合った

～第27回知事と語り会

第27回「知事と語り会」が6月4日、地場センターで開催され、市民の方など約250名が参加されました。

知事と直接語り合う機会がないということ、13名の方が知事へ質問や意見を投げかけると、知事からも丁寧な受け答えがなされ、約1時間半にわたり熱気のある意見交換が行われました。

なお、この「知事と語り会」では、南薩縦貫道路の整備促進についての要望や市町村合併についての質問、枕崎空港の活用などについて意見交換が行われましたが、詳細は、後日、県のホームページに掲載される予定です。
<http://www.pref.kagoshima.jp/chiji/katarokai/h19/>



若者たちの思いが会場に響く

～市内中学校弁論大会

枕崎市中学校弁論大会が6月20日、市民会館で開催されました。大会には市内4中学校の代表と特別出場として市内2高校から2人の計12人が登壇し、会場の中学生や保護者、市民の前で堂々と熱弁をふるっていました。それぞれの発表が終わると、会場から惜しめない拍手が送られていました。

最優秀賞は、濱口真佑実さん（枕崎中2年・写真）の『どうせやるなら』。部活動における経験から、いやなことでも「どうせやるなら」と前向きに取り組むことが大事だと、力強く述べていました。